

子どもが開きたくなるキャリア・パスポートにするために

令和8年1月 義務教育課

様式例を「やまぐちPRIDE」の醸成の観点で柔軟にカスタマイズしてみましょう

こうした教材については、小学校から高等学校まで、その後の進路も含め、学校段階を超えて活用できるようなものとなるよう、各地域の実情や各学校や学級における創意工夫を生かした形での活用が期待される。国や都道府県教育委員会等が提供する各種資料等を活用しつつ、各地域・各学校における実態に応じ、学校間で連携しながら、柔軟な工夫を行うことが期待される。

(出典：小学校学習指導要領解説特別活動編p. 83/中学校学習指導要領解説特別活動編p. 73)

※「やまぐちっ子 キャリア・パスポート」様式例の項目一覧（例）に示している【「やまぐちPRIDE」の醸成につながる観点】を参考にしてください。

中学校区で同じ様式・項目の記録を蓄積していくことで、子どもたちは、学年や校種を超えた自分の成長を捉えることができます。

中学2年の私①

名前 山口 县太郎

好きなもの・こと

読書をすること

友達と話すこと

自分のよいところ・得意なこと

掃除や委員会活動に一生懸命なところ

誰とでも仲のいい関係がつくれるところ

なりたい自分（将来の夢や目標）

山口県で学校の先生になること

人の役に立つ人間にになりたい

地域や「ふるさと山口」に対する思いを継続的に記録していくことで、子どもたち一人ひとりの「やまぐちPRIDE」の醸成につなげることができます。

なりたい自分に近づくために、今年がんばりたいこと

基礎3級と取得する 職場体験で小学校の仕事をつけて学ぶ
団でいる人がいたら、声をかけてよろしくない

周りの人のためにがんばりたいこと

後輩に委員会の仕事を分かりやすく教えたこと

家族の一員として自分の担当の風呂掃除を行ったこと

学校や地域のためにがんばりたいこと

図書委員として、読書の楽しさを全校生徒に伝えようと地域の行事に参加し、いろいろな人と交流する

地域や「ふるさと山口」の好きなところ

地域の方々が優しい

自然が美しい

野菜や魚などおいしい

先生から

いつも一生懸命なところが、最高なんですね。
今はまだですが、きっと将来に
つながります。

地元や家族を大切にする優しい心、これから
大事にしてくださいね。

このように書いている子どもにはもちろんのこと、書いていない子どもに対しても、教員や地域の方、保護者が対話的に関わったりコメントをしたりすることで、子どもたちの自己肯定感を高めることができます。

中学2年の私②

名前 山口 县太郎

○この1年間、どんな自分だったか、振り返りましょう

①周りの人のためになることが進んでできましたか

◎・○・△

②自分の責任を果たすことができましたか

◎・○・△

③自分の思ったことや考えたことを、相手に分かりやすく話すことができましたか

◎・○・△

④計画的に学習に取り組むことができましたか

◎・○・△

⑤なりたい自分に向け、努力することができましたか

◎・○・△

（◎よくできた、○できた、△できなかった）

各学校で設定した身に付けさせたい力に合わせて振り返ることで、子どもたちが自己評価できるようにします。

その他のシートは、子どもが選んで綴じるようになります。なぜなら、一人ひとりの夢や将来の目標には違いがあり、それが将来とつながるタイミングも、一人ひとり異なるからです。

